

■公開講座

《対談》 哲学の誤読

講師 日本大学教授 永井 均・ 青山学院大学准教授 入不二基義



入不二基義著『哲学の誤読』（ちくま新書、2008年1月刊行予定）は、第2章で永井均著の「解釈学・系譜学・考古学」の読解を展開する。永井のこの論文は、2002年の東京大学の入試問題（国語・第四問）として出題され、複数の予備校・出版社がその解説や解答例を発表しているが、その解説・解答例の中には「哲学の誤読」が散見される。永井論文の他にも、野矢茂樹・中島義道・大森荘蔵各氏の入試に出題された文章を題材にしながら、「哲学の文章を読み解くこと」をめぐる、永井と入不二が意見を交換する。（入不二・記）



永井 均（ながい・ひとし）

1951年東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得。千葉大学文学部教授を経て、現在、日本大学文理学部教授。専攻は、哲学及び倫理学。主な著書に、『翔太と猫のインサイトの夏休み』（ちくま文庫）、『ワイトゲンシュタイン入門』（ちくま新書）、『<子ども>のための哲学』（講談社現代新書）、『私・今・そして神…開關の哲学』（講談社現代新書）など。

入不二基義（いりふじ・もとよし）

1958年11月11日生まれ。東京大学文学部哲学科卒業。同大学院博士課程単位取得。山口大学助教を経て、04年より、青山学院大学文学部准教授。専門は、哲学（特に自我論、相対主義論、時間論など）。主な著書に、『時間と絶対と相対と 運命論から何を読み取るべきか』（勁草書房）、『ワイトゲンシュタイン「私」は消去できるか』（NHK 出版）、『時間は実在するか』（講談社現代新書）など。

日 時 2008年2月16日 土曜日 15:30～17:30

受講料（税込） 会員 3,360円 一般（入会不要） 3,990円

場 所 新宿住友ビル7階 朝日カルチャーセンター（申し込みは4階受付）

※講師の病気や、受講者が一定に達しない場合などには、やむを得ず講座を延期または中止することがあります。

※お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。